

事前評価書

年度	R3
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業 一般国道442号(久住 ^{くじゅう} 拡幅Ⅲ)	事業主体	大分県
所在地		竹田市久住町大字久住 ^{くじゅう}		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良の解消による通行車両の走行性、安全性の向上 ・観光施設へのアクセス強化によるツーリズム振興 ・中九州横断道路竹田阿蘇道路と一体となった道路機能の向上 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=2,130m(現道拡幅)、W=6.0(7.5)m</p> <p>【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=50km/h 【計画交通量】 1,940台/日(令和12年度)</p> <p>【現況幅員・交通量】 最小幅員W=5.5m(路肩含み)、交通量 1,988台/日(H27センサス)</p>		
	事業費	C=700百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から5年(令和8年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 測量、道路詳細設計、用地測量</p> <p>2年目 用地補償、道路工事</p> <p>3年目 用地補償、道路工事</p> <p>4年目 道路工事</p> <p>5年目 道路工事</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線は、緊急輸送道路1次ネットワークであり、熊本・福岡方面につながることから、各産業(林業、畜産、園芸等)の大型車が往来している。本事業区間は、車道幅員、拡幅量等が現行の道路構造令を満たしておらず、通行車両の走行性、安全性が確保されていない。 ・久住地域は県内屈指の観光地であり、本事業区間の周辺には、多様な観光施設が存在し、沿道には県内外の観光客が往来しており、豊肥地域の玄関口として重要な役割を果たしている。 ・中九州横断道路竹田阿蘇道路が事業化され、本路線にインターチェンジ(仮称 竹田久住IC)も接続することから、広域的なネットワーク形成が期待される。 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・幅員狭小、線形不良の解消による、通行車両の走行性、安全性の向上 ・観光施設へのアクセス強化によるツーリズム振興 ・今後整備される中九州横断道路竹田阿蘇道路と一体となった道路機能の向上 		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C)=0.8 ※事業実施の評価は、通行困難区間の解消を目的とした一次改築であることを含めて判断 		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造令に適合した工法を採用 ・事業箇所は阿蘇くじゅう国立公園の特別地域内に位置し、現道には観光施設が隣接していることから、地形改変の少ない現道拡幅案を選定 		
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトコンクリート、砕石は再生資材を利用 ・建設発生土の現場内流用に努める。 		
	環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい ・法面部は植生を行い、周辺景観との調和を図る。 		
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・竹田市は、大分県議会土木建築委員会へ事業着手の要望書を提出しており、協力体制は整っている。 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法第12条に基づき事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015～2020改訂版～」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015～改訂～」に基づき事業を実施 ・社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 		
対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい 		

事業箇所位置図

